

中山田おもてなし標語

島根まで、届け届けの

ガンバレコール



自己紹介、
選手は名前
と特徴を紹
介しました。
十月一日

受け入れチームの紹介

島根県チーム
は、県立横田高
校の単独チーム
です。

中山田民泊協力会

会長 安達 宏彦

横田高校は、
今大会出場チ
ームでは一番多い
監督・選手合わ
せて二十七名、
今大会で優勝し
たので高校三大
タイトル「選抜
・インターハイ
・国体」全て制
覇し、高校三冠
を果たしました。

歓送迎会の状況

九月二十六日午後四時過ぎ、大
型バスで選手団がやってきました。
「よう来たなあー」の大歓声。

その夜は、子ども会がめじろん
ダンス、塚脇小学校五年生のソー
ラン踊りで歓迎をし、民泊家庭の

の夕食時には、選手と保護者とが
一緒に校歌を歌い、中山田地区婦
人会の山路踊り等、民泊家庭より
選手一人一人に記念品（伐株山に
鯉のぼりを立てた陶器）を贈りま
した。



島根の父母も参加したお別れ会では、中山田婦人会も
はりきって 山路おどりを披露

調理の状況

調理は一週間に人数を割り当て
(婦人会延一〇〇名)行いました。



決勝戦の朝、中山田神社前で島根県チームに三冠制覇の
エールをおくる生田のり子さんと協力会のみなさん

二十七名の大所帯でしたが、毎
日班長が検食（調理前後）し、そ
れぞれ分担し、全員が連帯でやる
ことで、手早く楽しく出来ました。
選手から、「料理が大変美味し
かったです」と言われ、皆満足で
した。

民泊受け入れ家庭より

島根県の横田高校の生徒さんを
三名引き受けて下さいと言われた
時は、「はい、受けさせていただ
きます」と言ったものの、少し不

安でした。

しかし、実際に子どもたちに会
うとその不安も消え、もう何ヶ月
も前からいたような気持ちで楽し
かったです。そして、我が家に泊
つてくれた吉川君が、ここぞとい
う時にシュートを決めた時は、自
分の息子が勝ち取ったかのように
涙が出ました。

これからの子どもたちの前途を
ご両親と一緒に見守ってあげたい
と思っています。

また、いつの日か会える日を楽
しみにしています。



中山田の子ども達による歓迎のめじろんダンス